

福島県労連

2025年6月15日 Vol. 298(6月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町 2-5 一番丁ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkstoren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkstoren.org/>

安心して話し合える職場をつくろう！ 「介護・医療・保育で働くなかまのつどい」を開催



講演に聞き入る参加者のみなさん



講演する民谷孝則さん(全国福祉保育労組書記次長)



9つのグループに分かれて交流

福島県労連、福島県医労連、福島県農協労連、福祉保育労組福島支部は実行委員会をつくり、6月8日(日)午後、郡山市で「介護・医療・保育で働くなかまのつどい」を開催しました。

「つどい」は、深刻な人手不足の中で、「安心して自分の思いを出し合える」「働き続けたいと思える」職場づくりに役立つ学びや交流をすすめるよう準備され、県内各地から39人が参加しました。

「心理的安全性」を学ぶ

「つどい」では、全国福祉保育労組書記次長の民谷孝則さんを講師に、「心理的安全性—安心して話し

合える職場をどうつくるか」について学びました。「心理的安全性」とは「このチームでは率直に自分の意見を伝えても、対人関係を悪くするような心配はしなくてもよいという信念が共有されている状態」を指します。

民谷さんは会議等で発言が出ず、シーンとする理由(4つの不安)や心理的安全性を高める「4つの鍵」などについて、具体例をあげながら講演。今後に関わる学びとなりました。

楽しく「グループ交流」

講演の後は、その内容を実践するため、職場を超えた4人一組での

「グループ交流」。①100万円あったら、貯金以外で何に使う？(自己紹介も)、②講演で気づいたこと、印象に残ったことは？③私の職場、ここを変えたい！④講義をうけてできそうなことは？のテーマに沿って、自分の思いを紙に書き、メンバーと共有しながら、一人ひとりの思いを語り合いました。

参加者からは「講演の内容はうなずけることばかりでした」「初対面の人も安心して話すことができた」「いろいろな職場、業種の方の話が聞けて楽しかった」「また参加したい」などたくさん感想が寄せられました。

最低賃金引き上げめざす東北・北海道キャラバン 「中小企業支援し、全国一律・1500円以上」の実現を!



<福島労働局への要請> 要請書を受け取る鈴木孝春賃金室長(左はじ)

全労連東北地方協議会と北海道協議会は、18回目となる「最低賃金引き上げめざす東北・北海道キャラバン」を、6月1日にスタートさせ、6月3日には福島県行動に取り組みました。
福島県行動では、福島労働局と福島県への要請、街頭宣伝や記者会見を行い、「中小企業を支援して、全国一律・時間額1500円以上」の最低賃金を実現することを求めました。福島県行動には、宮城県労連の高橋正行議長、いわて労連の中村健事務局長も参加しました。



<県政記者クラブでの記者会見> 左から、高橋正行宮城県労連議長、野木茂雄福島県労連議長、中村健いわて労連事務局長、佐藤晃子福島県労連事務局長



<JR福島駅前での宣伝行動> 激しい雨の中、参加したみなさん



<福島県への要請> 要請書を受け取る岩城秀明県商工労働部雇用労政課主幹(兼)副課長(左はじ)

「福島県最低賃金を1500円以上」の声を審議会に届けよう!

福島県最低賃金の今年度の改定額については、これからの審議で決まります。例年、7月中旬ごろから審議が始まり、中央最低賃金審議会が、7月下旬に「引上げの目安金額」を示します。これをうけ、福島県の審議会で集中的に議論し、8月初旬までに、引き上げ金額を答申するというスケジュールです。

今年度の引き上げ金額は、私たちのこれからの運動と世論の広がりにかかっています。6月19日、7月11日の「最低賃金デュー」を節目に、職場、地域で学習と署名を広げましょう。



中小企業・小規模事業者を支援し、福島県と全国の最低賃金を時間額1500円以上に引き上げることを求める要請署名

福島県最低賃金審議会会長 様
福島労働局長 様
中央最低賃金審議会会長 様
厚生労働大臣 様

■要請の趣旨■

連続する物価高騰と実質賃金の低下により、労働者の生活苦や貧困が広がっています。福島県の現在の最低賃金は時間額955円です。これで1か月働いた賃金は、136,374円です(福島県毎月労働統計調査・令和6年度月平均労働時間は142.8時間)。ここから税金や社会保険料などが引かれます。また家賃、水光熱費などの支払い、奨学金の返済などが加われば、とても生活できるような水準ではありません。抜本的な引き上げが求められています。

また全国の最低賃金は各都道府県で金額が違います。最高の東京都は現在1,163円、福島県との差は208円です。1か月あたり2万9703円、年間では35万6436円もの差になります。この賃金格差は若者などが首都圏や大都市に流出する一因となっています。

私たちが全国で取り組んでいる「最低生計費試算調査」では、1人の若い労働者が自立して人間的に暮らすには全国どこでも月額25万円、時間額1500円以上が必要であり、都市部と地方の差はほとんどないことが明らかになりました。都道府県ごとに金額が違うという現在の制度を改めて、全国一律の制度にすると、そして、その水準も時間額1500円以上になることが求められています。

最低賃金を引き上げるためには、地方の経済を支える主役である中小企業・小規模事業者への支援が不可欠です。社会保険料、税の減免や、人件費、原材料費、エネルギーコストの上昇分が適切に価格に反映される仕組みの整備などが求められています。最低賃金を引き上げるとは、貧困や生活苦をなくし、さまざまな困難を抱える福島県の地域経済を守り、活性化させるうえで大きな力となるものです。

■要請項目■

- 最低賃金の地域間格差を解消し、福島県と全国の最低賃金を時間額1500円以上に引き上げること。
- 最低賃金の引き上げを円滑に実施するため、中小企業・小規模事業者への助成措置を行うとともに、人件費、原材料費等の上昇分が適切に価格に反映される仕組みを整備すること。

氏名	住所
	福島県
	福島県
	福島県
	福島県

※この署名用紙は、関係行政への要請以外の目的に個人情報が利用されることはありません。
【取組団体】福島県労働組合総連合・福島県若者共闘委員会 〒960-8061 福島市五月町2-5 一番丁ビル
TEL: 024-522-3097/FAX: 024-522-3102/Eメール: fksoren@soleil.ocn.ne.jp

参議院
選挙

くらしと平和を守り、希望ある未来をつくるため 必ず投票に行こう！

物価高騰からくらしを守るために、賃上げ、年金の引き上げ、消費税減税、コメの増産などの要求は切実です。また、戦争や原発のない社会にしなければなりません。これらの問題は政治と深く関わっており、7月に実施される参議院選挙は、とても大切な選挙です。

参議院でも、自民・公明を過半数割れに追い込もう！

昨年の衆議院選挙では、自民・公明政権を過半数割れに追い込みました。それにより、高額療養費の上限引き上げの凍結、企業・団体献金禁止についての国会審議、選択的夫婦別姓の28年ぶりの国会審議開始など大きな変化が生まれています。こうした動きをさらに前にすすめるため、実現させるためには、衆議院に続いて参議院でも自民・公明を過半数割れに追い込むことが必要です。

学習と対話、「投票に行こう」のよびかけを広げよう！

2015年以降の国政選挙で実現してきた県内の野党共闘（野党統一候補）は難しい状況にあります。実現しなかった場合は、党派間の選挙となることから、組合員の思想・信条や政党支持の自由を守る立場で、県労連として、特定の候補者や政党を推薦することはしません。しかし、「政治を変えて要求実現をすすめる」立場から、私たちの要求に対する各政党、候補者の政策を明らかにしたり、「投票に行こう」というよびかけを広げたりすることは積極的にとりくみます。

各単産・単組、地方労連でも学習会など選挙に関する学習や対話、「投票に行こう」のよびかけを広げましょう。



ふくしま県女性『9条+24条』の会 「つどい2025 in会津」に232人が参加

「つどい」は、5月31日（土）午後、会津若松市で開催されました（県内各地から232人が参加）。最初に、2022年公開のドキュメンタリー映画「教育と愛国」を鑑賞。上映後に、監督の斎加尚代さんが講演（写真）。斎加さんは、「政府の意思に沿わない学問や学者を排除し、政府にとって都合の良い国民をつつていく動きがだいぶ前から始まっている。その先に何があるかを考えながら、子どもの未来を守るために、いま学校現場で起きていることについて、目を向けてほしい」と訴えました。



シンポジウム「いつしよに考えよう！福島で —原発事故から14年」に450人が参加

シンポジウムは、ふくしま復興共同センター、福島県革新懇、全国革新懇の共催で、5月18日（日）午後、二本松市で開催されました（全国から450人が参加）。原発事故から14年が経過した福島の実態が、さまざまな角度から明らかにされ、原発ゼロ実現にむけた決意を固められました。参加者からは「福島の実態を初めて知った」「勉強になった」などの感想が寄せられました。

なお、シンポジウムのようすは、YouTube（ふくしま復興共同センターのチャンネル）で公開されています。

ようこそ!労働組合へ!

「労組学習会」を開催

「夢みなみ農協労組」

夢みなみ農協労組は5月28日夜、本店(須賀川市)で、今年度新たに加入した組合員を対象に「労組学習会」を開催し、対象者6名と役員5名の計11名が参加しました。五役と支部長があいさつと自己紹介を行い、各職場の労組役員を紹介した後、添田雅弥福島県農協労連中央執行委員長が講師となり、「労働組合とは?」「どんな役割があるのか」「基本的な権利」などについて学習しました。

最後に、「労働組合は職場の“よりどころ”。安心して働き続けるために、仲間と環境を整えていきましょう。疑問や不安は気軽に相談を」と呼びかけました。参加者からは「この学習会に残業代は出るのか」といった素朴な質問も出るなど、真剣に耳を傾ける様子が見られました。



まちがいは7つ



応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります!

応募はハガキ(メールも可)に、①クイズの答え、②氏名(ふりがなも)、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず(必要な方はペンネームも)書き添えてご応募ください。締め切りは7月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

296号(4月号)のクイズの答えと当選者

答えは①カバンの持ち手②女性の近くのコップ③中央男性の左袖④酒瓶⑤右の男性のメガネ⑥右の男性の腹⑦桜の枝でした。応募者は12名で全員が正解。次の方に図書カードを送ります。

- | | |
|------------|-------------|
| ◇しんこさん | 大原労組 |
| ◇ケンミキさん | こだま交通労組 |
| ◇チュエリッパさん | 会津地方労連 |
| ◇ホエイさん | 福島県医労連 |
| ◇だちんさん | みやぎ生協労組 |
| ◇かめさん | 福厚労鹿島分会 |
| ◇けろっぴさん | 福厚労塙分会 |
| ◇猫に埋もれたいさん | 福厚労塙分会 |
| ◇スマイルさん | コープあいづ労組 |
| ◇栗城英雄さん | 年金者組合会津若松支部 |

「被爆80年—国民平和大行進」に参加しよう!

- 中通りコース 6月21日(土)~6月28日(土)
- 浜通りコース 6月22日(日)~6月26日(木)
- 会津コース 6月21日(日)~6月24日(火)

※くわしい日程は県労連、各地方労連にお問い合わせください。

福島県労連第37回定期大会

<日時>8月3日(日)午前10時~午後3時30分

<場所>二本松市福祉センター

聞いて聞いて

私の思いみんなの願い

☆気分転換したい時は間違い探し

(こだま交通労組 パリピ孔明さん)

☆間違い探し難しい:なんとか見つけられました!

(福厚労塙分会 猫に埋もれたいさん)

☆まちがいがさがし☆休憩中にスタッフで楽しみなが挑戦してます!

(福厚労塙分会 けろっぴさん)

☆苦しい時こそ助け合い、はげまし合い優しい気持ちで支え合いましうね。

(会津地方労連 チュエリッパさん)

☆参院選、消費税減税が争点になっていますが、何をいまさらという感じです。選挙の度に公約を二転三転する政党はいまいち信用なりません。

(みやぎ生協労組 だちんさん)

自動車共済

まずはFAXで見積りを!

割安な共済掛金、補償は充実!
等級別割引・割増の継承ができる!

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ